

## 保証書

型名	No.5200 デジタルミラー バルーチェ M[エム]		
保証期間	1年間	お買上げ年月日	年 月 日
お客様	住所	〒 TEL( ) -	
	お名前	ふりがな 様	
販売店	住所・店名 TEL		

この度は、弊社製品をお求めいただきありがとうございます。本書は本記載内容で無償修理することをお約束するものです。

- 取扱説明書に従っての正常な使用状態で、保証期間中に故障した場合には、商品と本書をご持参ご提示の上お買上げの販売店または弊社にご依頼ください。
- 二次的に発生する損失の補償および、下記のような場合には、保証対象には含まれません。
  - 1) 使用上の誤り、あるいはメンテナンス等の義務を怠ったために発生した故障および損傷。
  - 2) 不当な改造や修理による故障および損傷。
  - 3) お買上げ後の移動、落下などによる故障および損傷。
  - 4) ご使用後のキズ、変色、汚れおよび保管上の不備による損傷。
  - 5) 消耗が起因とする故障および損傷、または消耗品の交換。
  - 6) 火災、塩害、ガス害、地震、落雷、および風水害、その他天災地変、あるいは外部要因による故障および損傷。
  - 7) 本書のご提示がない場合。
  - 8) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
    - ご転居の場合は事前にお買上げの販売店にご相談ください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
  - ※なお、保証の要否は、大変勝手ながら弊社に於いて判断させていただきますのでご了承ください。
- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明な点がある場合は、お買上げの販売店または弊社にお問い合わせください。

### 大橋産業株式会社

〒570-0033 大阪府守口市大宮通3丁目1番14号 TEL06-6996-2631

URL <https://www.bal-ohashi.com>

### アフターサービス

- 保証書について
 

保証書は必ず「お買上げ年月日、お買上げの販売店名」等の記入をお確かめのうえ、お買上げの販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はお買上げ日から1年間です。この保証書は、本製品のみ保証であって、本製品以外の故障、損害、修理等の責任は一切負いません。
- 修理のご依頼について
 

保証期間内は恐れ入りますが、製品に保証書を添えて、お買上げの販売店までご持参ください。保証規定にもとづき修理させていただきます。
- 補修用性能部品の最低保有期間
 

この商品の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）保有期間は、製造打ち切り後6年間とさせていただきます。この商品が、場合により短くなることもあり、代替品での対応をさせていただくことがあります。
- アフターサービス等について、ご不明な点がございましたら、お買上げの販売店もしくは弊社までお問い合わせください。

商品に関するお問合せは：

 0120-076-074



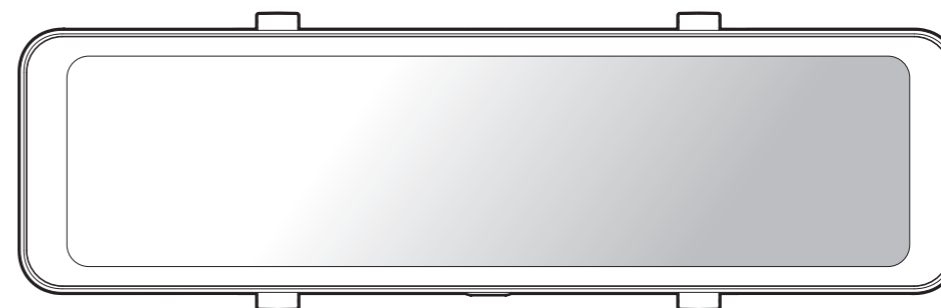
No.5200

# デジタルミラー BALUCE M [エム]

## 取扱説明書 保証書付

このたびは、当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- ・取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ・ご使用前に「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。
- ・保証書は「お買上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、大切に保管してください。
- ・購入時のレシートや販売証明書は捨てずに本書と共に保管してください。



### もくじ

安全にお使いいただくために	P.1	設定メニュー画面	P.12
本製品について	P.1	ガイドラインの調整	P.12
使用上のご注意	P.2	リヤカメラズーム機能	P.13
梱包内容一覧	P.3	リヤカメラ鏡像	P.13
各部の名称とはたらき	P.4	リヤカメラ画像上下反転	P.13
取り付けかた	P.5	ファームウェアについて	P.14
取り付けについて	P.5	ファームウェアをアップデートする	P.14
取り付け上のご注意	P.6	故障と処置	P.15
ケーブルの引き回しと取り付け位置例	P.6	主なエラーメッセージ	P.16
本体(固定バンド)の取り付け	P.7	製品仕様	P.17
電源接続コードの取り付け	P.7	保証について	P.17
リヤカメラの配線と取り付け	P.8	個人情報の利用目的について	P.17
使いかた	P.10	修理受付票	P.18
電源ON/OFFについて	P.10		
液晶モニター表示	P.10		
リバーシギヤ連動表示	P.11		

## ■安全にお使いいただくために

### ケガや事故を防ぐために必ずお守りください。

#### 絵表示について：

この取扱説明書に示した注意事項は、本製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じると想定される内容を「危険」、「警告」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要なことですのでよく理解し、必ずお守りください。



**警告**

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



**注意**

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性、あるいは物的損傷が発生すると想定される内容を示しています。

#### ■表示について

**重要**

この表示のある記載内容は、ご使用になるうえで非常に重要な内容を示しています。本製品をご使用になる前に必ずお読みください。



この表示のある記載内容は、禁止事項を示しています。



この表示のある記載内容は、注意事項を示しています。

## 本製品について

- 本製品はDC12V/DC24V車（マイナスアース車）専用です。
- 本製品は車載専用です。他の用途で使用しないでください。
- 本製品は日本国内での使用を目的として設計・製造されています。海外での使用はできません。
- 分解したり修理したりしないでください。火災、感電、ケガの原因となります。
- 走行中に運転者は操作をしないでください。また画像・表示を注視しないでください。走行中の操作や画像・表示の注視は、前方不注意による交通事故の原因となります。操作の際は必ず安全な場所に停止しサイドブレーキをかけた状態でご使用ください。
- 必ず付属品や指定の部品を使用してください。指定以外の部品を使用すると、本体内部が故障したり、固定できずに外れるなど、事故や故障の原因になることがあります。
- 自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造によって生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- 本製品を取り付けたことによる、車両の変色・変形（跡が残る）に関して、弊社は補償いたしかねます。
- 本製品の外观・アイコン・表示名・表示の内容は、実際とは異なったり改良のために予告なしに変更することがあります。
- 医療用電気機器の近くでは使用しないでください。  
\*ベースメーカーやその他の医療用電気機器に電波による影響を与えるおそれがあります。
- 本製品が故障したり、発煙や異臭が発生している状態で使用しないでください。そのような状態で使用すると発火などの原因になります。直ちに使用を中止してください。
- 本製品に強い衝撃を与えないでください。落下させる、叩くなどして衝撃を与えると、故障の原因になることがあります。
- 本製品を取り付けたことにより発生した車両や車載品の故障、事故などの付随的損害について弊社は一切の責任を負いかねます。
- 本製品には1年間の保証がありますが、接続コード類・固定バンドなどは保証対象外となります。
- 運転時は交通ルールを守り、前方車両との車間距離や周囲の状況、運転環境に注意して必要に応じて安全運転に努めてください。
- 取扱説明書にしたがい正しく使用していた場合でも、動作を完全に保証するものではありません。万が一、それに伴う損失が発生しても当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- LED信号機は、映像がちらついたり、点滅しているような映像が映し出される場合があります。信号機の識別に関して、当社は一切の責任を負いません。
- LED照明やLEDヘッドライトなどは、映像がちらついたり、点滅しているような映像が映し出される場合がありますが、本製品の故障ではありません。
- 液晶画面に映し出されている映像に、ちらつきが出たり映像が滑らかに動かないことがあります。頻繁に発生する様であれば配線類の設置方法を変更するなどお試しください。
- 本製品は、あらゆる状況においての映像を保証するものではありません。

### 地デジ・FMラジオなどへの影響について

- 本製品はノイズ対策をしていますが、地域や配線の引き直しなどにより、テレビがフルセグからワンセグに切り替わったり、ラジオに雑音が入ることがあります。地デジやラジオの線から離れて本製品の配線を引き回すことにより回避できることがあります。また、これらのアンテナ線と本製品の配線を一緒に束ねないでください。
- ミラー内部にワイヤレスキーの受信機が内蔵されている車種によっては、ワイヤレスキーによるドアの施錠・開錠が正常に作動しなくなる恐れがあります。

## 使用上のご注意

- 本製品を使用中の交通事故、交通違反に関しては、弊社は一切の責任を負いかねます。安全運転を心がけてください。
- 本製品のボタンやタッチパネルに過度な力を加えないでください。故障や破損の原因になることがあります。
- リヤカメラのレンズは広角であるため実際のミラーの見えかたとは異なります。特に取り付け直後は距離感に注意して走行してください。
- 本製品は電波干渉の対策をしていますが、地デジやラジオなどの受信環境により電波干渉の影響がでることがあります。
- 液晶画面に映り込みがあり見えにくいときはミラーモードで使用するかミラーを映り込みし難い角度に変えてください。



**注意**

- 本製品を取り付けるときはエンジンを停止してください。
- 本製品に磁気をおびているものを近づけないでください。本製品の誤作動および故障の原因になります。
- 車両のガラスと本製品のレンズ表面をきれいにしてください。ホコリや異物による反射や屈折現象で、きれいに表示できないことがあります。また、タバコやホコリなどにより鮮明に表示できないことがあります。
- トンネル入出時のように、急に明るさが変化するときや逆光が強いとき、夜間光源が無いなどの条件下では、表示画質が低下することがあります。
- LED方式の信号機やLEDランプ類は画面がちらついたり、点滅しているような映像が表示されたり、色の認識ができないことがあります。
- 地デジなどテレビやオーディオ類のアンテナ付近や電装品の付近に取り付けると、アンテナ感度の低下やチャツキ、ノイズの原因になることがあります。

### 本製品の電源ON機能について

- 本製品は車両のエンジンスイッチを「ACC」または「オン」にすると、本製品の電源がオンになります。また車両のエンジンスイッチをオフにすることで、本製品の電源がオフになります。

### アイドリングストップ車での電源オフについて

- 本製品をアイドリングストップ車で使用される場合、車両のバッテリー電圧の状態により、アイドリングストップ状態からエンジン始動のタイミングで本製品の電源がオフになることがあります。その時は電源ボタンを押して再度電源を入れるようにしてください。

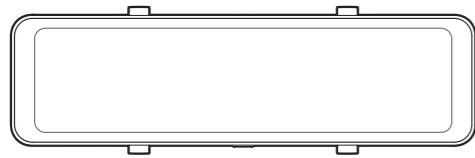
### 電源接続コードについて

- 電源接続コードのアクセサリープラグは車両のアクセサリーソケットに直接接続してください。増設ソケットや延長ソケットに接続したときはご注意ください。接触不良による誤作動やプラグの発熱により、故障の原因になります。
- 電源接続コードを接続したとき、車両によりエンジンが停止してもアクセサリーソケットに電源が供給されている車両があります。バッテリー上がりの原因になりますのでアクセサリープラグをアクセサリーソケットから抜いてください。
- 電源接続コードは途中で切断しないでください。\*アクセサリープラグ内で変圧しています。

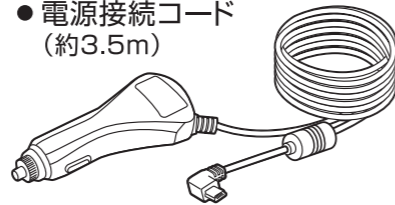
## ■ 梱包内容一覧

取り付けおよび接続する前に必ず以下の同梱物を確認してください。

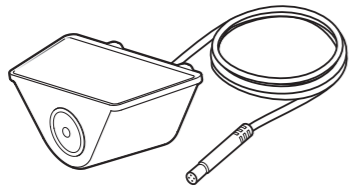
### ● 本体



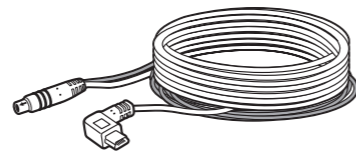
### ● 電源接続コード (約3.5m)



### ● リヤカメラ (防水、防塵)



### ● リヤカメラ接続コード (約7m)



### ● リヤカメラ取付用ステー

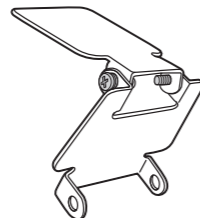
#### 【車外取付用】



×4 (予備×2) ×4 (予備×2)  
 <ねじA> <ワッシャーA>

×4 (予備×2) ×2  
 <ねじC> <両面テープ>

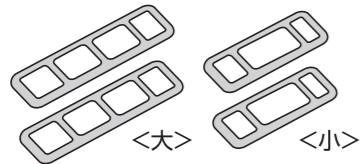
#### 【車内取付用】



×4 (予備×2)  
 <ねじB (ワッシャー付)>

<両面テープ>

### ● 固定バンド



### ● クロス

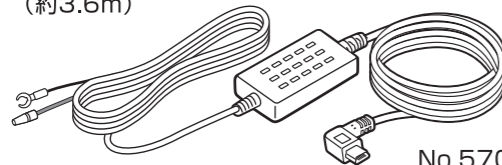


### ● 取扱説明書 (本紙)



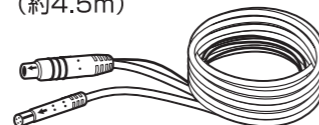
### オプション品 (別売)

#### ● 接続コード (約3.6m)



No.5701

#### ● リヤカメラ延長コード (約4.5m)



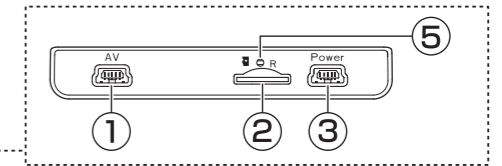
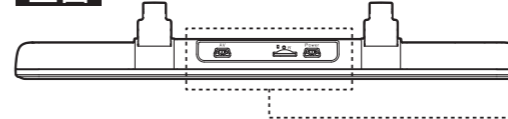
No.5702

※両面テープ・固定バンドは消耗品です。消耗部品の交換は保証期間内でも有料になります。  
 ※電源接続コード・リヤカメラ接続コード・リヤカメラなど専用品となっていますので、形状が同じでも他製品の物は使用できません。

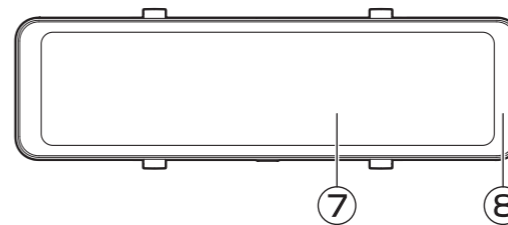
## ■ 各部の名称とはたらき

### <本体>

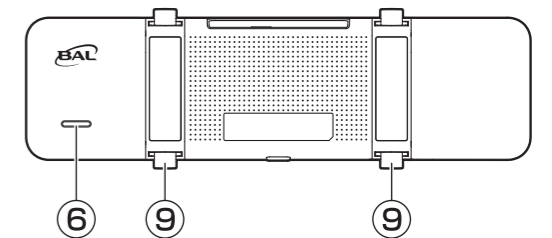
#### 上面



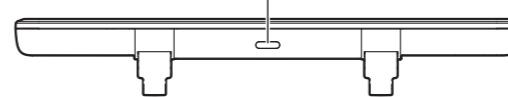
#### 正面



#### 背面



#### 下面



#### ① リヤカメラ接続miniUSB ポート

付属のリヤカメラ接続コードを接続します。

#### ② microSD カードスロット

ファームウェア更新時、microSD カードを挿入します。

#### ③ 電源接続USB ポート

付属の電源接続コードを接続します。(オプション品の接続コードを接続します。)

⚠ 注意：当社指定の接続コード以外は絶対に接続しないでください。正常に動作しなかったり、故障の原因になります。

#### ④ 電源ボタン / モード切替ボタン

短押し(電源ON時)：走行モード(カメラ映像) / ミラーモードに切り替わります。  
 長押し：電源のON/OFFができます。

#### ⑤ リセットボタン

電源がONのときにリセットスイッチを押すと、本製品が再起動します。  
 ⚠ 注意：本製品が正しく動作しなくなった時に押してください。  
 ⚠ 注意：リセット中はSDカードの抜き差しはしないでください。

#### ⑥ スピーカー

操作音が鳴ります。

#### ⑦ 液晶モニター (タッチパネル式)

⚠ 注意：工場出荷時に保護フィルムが貼ってあります。  
 ご使用前に必ず剥がしてください。

#### ⑧ ミラーフレーム

⚠ 注意：この(端)部分をタッチしても液晶画面は反応しません。

#### ⑨ 取付固定具

固定バンドを引っ掛けるときに使用します。



**注意**

“①リヤカメラ接続miniUSBポート”の抜き差しは、必ず電源がオフの状態で行ってください。故障の原因となります。



## ■ 取り付けかた



### 取り付けについて 注意

取り付けの前に必ず仮配線(仮接続)にて動作確認を実施したのち、本配線してください。

- ⊘ シートベルトやエアバックなどの安全装置の動きを妨げる場所には取り付けしないでください。事故の際に安全装置が働かず、ケガの原因となります。
- 配線の取り付け/取り外しは、配線設置時に配線を無理に引っ張ったり、ボディなどの鋭利な箇所により断線・短絡することがあります。専門の技術者に依頼・相談してください。取り付けには専門技術と経験が必要です。
- 運転や視界を妨げたり、同乗者に危険を及ぼすような場所へは絶対に取り付けしないでください。
- 取り付けには車両の保安部品のボルトやナットを絶対に使用しないでください。
- 本製品の取り付け・配線後は、車両の電装品などが正常に動作するか確認してください。車両の電装品(保安部品・ナビゲーションや操作パネルなど)が正常に作動しない状態で走行した場合、事故の原因になります。
- コード類は、運転や乗降の妨げにならないように引き回してください。運転操作や乗降の妨げにならないようにまとめたり固定するなど、配線の処理をしてください。適切に処理しないと事故やけがの原因になります。
- 取り付け・配線作業中は、必ずバッテリーのマイナス端子を外してください。バッテリーのマイナス端子を繋いだまま取り付け・配線作業をすると、ショートなどの原因になることがあります。
- 使用しないコードの先端や金属部分が露出している箇所は、必ず絶縁処理をしてください。車両の金属部分に接触するとショートや発火の原因になることがあります。
- 本製品を車両に穴を開けて取り付けするときは、配線やパイプなどの位置を確認してから取り付けしてください。取り付けるときは配線やパイプ類に接触しないようにしてください。また振動しないように確実に固定してください。
- 電源接続コードは付属品を必ず使用し、アクセサリプラグはアクセサリソケットの奥まで確実に差し込んでください。アクセサリプラグを奥まで確実に差し込んでいない場合、接触不良によりプラグ本体が発熱しプラグを变形させるばかりではなく火災の原因になります。
- 各コード類を傷つけないでください。また、傷ついたコードは使用しないでください。傷ついた箇所がショートし火災の原因になります。
- 電源接続コードのプラグに内蔵されているヒューズが切れた時は、必ずミニ管ヒューズ3Aと交換してください。定格以外のヒューズや針金などを使用すると、異常過熱や発火の原因になります。
- 高温になる場所などあらゆる熱源から離して取り付けしてください。直射日光やヒーターの熱風などが直接当たると本体内部の温度が上昇し故障の原因になることがあります。
- 振動の多い場所や不安定な場所へ取り付けしないでください。振動の多い場所や強い曲面などに取付けると、走行中に外れる・落下するなど、事故やけがの原因になることがあります。
- リヤガラスがプライバシーガラスのときやフィルムを貼っている車両は、夜間映像が見えにくいことがあります。リヤカメラを車外へ取り付けをお勧めします。
- 夜間など周囲の明かりが極端に少ないときは、映像が赤色や青色に映し出されることがありますが、カメラの特性であり、不具合ではありません。
- リヤカメラの取り付け位置によっては、ハイマウントストップランプの光や後続車両のライトにより映像が見えにくいことがあります。また、車内に取付けたときは、光の差し込み具合などにより車内がリヤガラスに映り込み、映像が見えにくいことがあります。
- リヤカメラを室内に取り付けたときはワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。拭き取り範囲外に取り付けると、降雨時などに鮮明に表示できないことがあります。
- リヤカメラの取り付け位置がリヤガラスの電熱線と重ならないように取り付けしてください。
- ラジオやテレビアンテナなどの近くに配線を設置すると、ラジオやテレビの受信感度が下がることがあります。
- 取扱説明書に従い正しく取り付け・配線をしてください。従わない場合は事故や故障の原因になります。
- タバコや可燃物および火気の近くで使用しないでください。またホコリなどの多い場所で使用しないでください。故障の原因になります。
- 本製品は防水、防滴ではありません。湿度が極端に高い場所や水などがかかる場所へ設置しないでください。漏電・感電や故障の原因になります。また、故障の原因となる悪環境下でも使用しないでください。
- 道路の状態により振動で本製品の取り付け位置がずれることがあります。適時適切な位置に固定されているか確認してください。
- 子供・乳幼児が容易に触れることができる場所へは設置しないでください。
- 液晶モニターは周囲の温度が約60℃以上になると、液晶モニター全体が黒くなったり、約-10℃以下になると映像が遅れたり表示されたりすることがあります。周囲の温度が液晶モニターの安定動作する温度になると元の状態に戻ります。
- 炎天下などで日よけを使用する際は、本製品をフロントガラスとサンシェードなどの間に挟み込まないでください。熱がこもりやすくなるため本製品の故障につながる可能性があります。
- 本製品の近くにGPS機能を持つ製品やVICS受信機を設置しないでください。誤動作を起こすことがあります。
- 各種コード類は束ねないように設置してください。設置方法や場所によってはノイズの影響を受けることがあります。

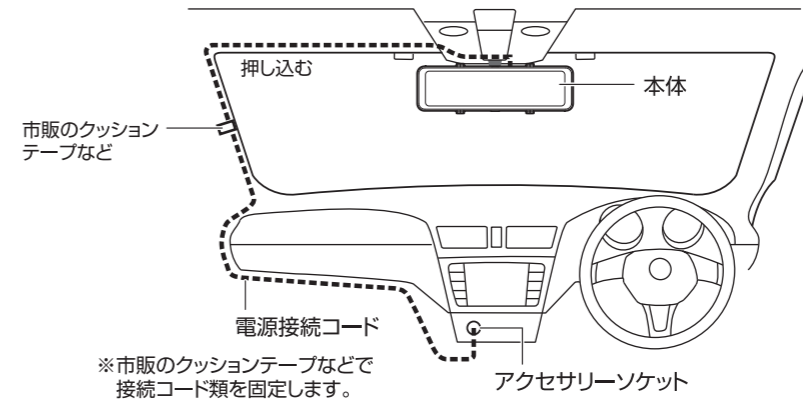
## ■ 取り付けかた

### 取り付け上のご注意

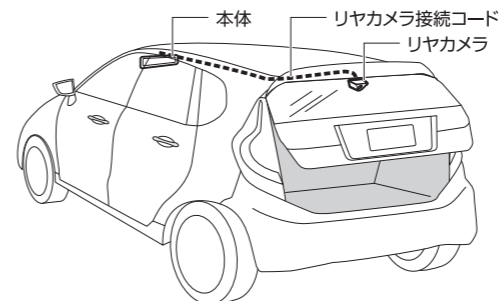
-  **警告**
  - バックカメラを後付ける際は、道路運送車両の保安基準の細目を定める告示 別添20「外装の技術基準」や、別添130「後方視界看視装置取付装置等の技術基準」に従う必要があります。これらの基準に適合しない装着方法では、車検に通らない恐れがありますのでご注意ください。
  - 道路交通法や関連する法令・規定などに抵触しないように正しく取り付けしてください。
  - 走行中、運転者によるミラーの角度調整は大変危険ですので絶対にしないでください。
  - 本製品は純正ミラーと距離感、視界の範囲が異なりますので、ご注意ください。
  - 本製品を運転支援システム搭載車に取り付けるときは、車両の取扱説明書を確認して運転支援システムに影響を及ぼすことがないか確認してください。
-  **注意**
  - 取り付けの際は、純正ミラーに負担がかからないように取り付け作業をしてください。
  - 正面から見てなるべく純正ミラーの中心になるように取り付けしてください。
  - 本製品を取り付けるときに、液晶モニターおよびミラー面を指などで強く押ししたり、乱暴に扱うなど無理な力を加えないでください。
  - 本製品の角度調整をするときは、本製品だけを持って調整すると外れる可能性がありますので、純正ミラーと一緒に持って調整してください。
  - 液晶が汚れたときは、乾いたやわらかい布で拭き取ってください。拭き取りのときに強くこすりつけたり、溶剤などが付いたものでこすらないでください。液晶モニターの破損や傷の原因になります。
  - 紫外線の影響により本製品の变色および固定バンドが劣化することがあります。
  - 取り付けの前に車両の取り扱い説明書をよくご覧になり適切に取り付けてください。
  - 純正ミラーは、車種によっては簡単に角度を調整できるように軽い力で動く仕様になっております。本製品を取り付けることによって、純正ミラーが走行時に揺れることがあります。その場合、純正ミラーの調整が可能な場合がありますので自動車販売店等にご相談ください。
  - 上記の警告・注意に従わず誤った使用・分解・改造をされた際の事故・故障・破損などについて弊社は一切の責任を負いかねます。

### ケーブルの引き回しと取り付け位置例

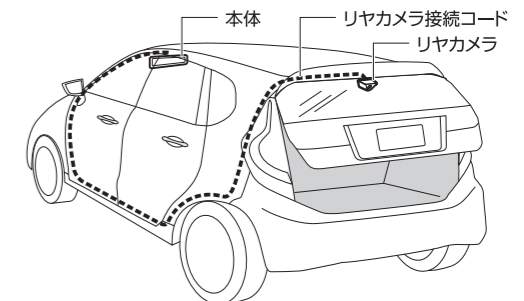
#### ■ 本体 (P.7) / 電源接続コード (P.7) / リヤカメラ (P.8)



#### リヤカメラ接続コードを天井配線する場合



#### リヤカメラ接続コードを床面配線する場合



※ドア開閉時、ケーブルの挟み込みにご注意ください。

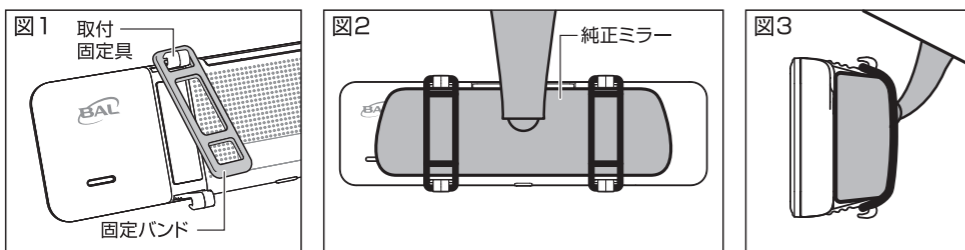
## ■ 取り付けかた

### 本体(固定バンド)の取り付け

固定バンドを使って、車両の純正ミラーに本体を取り付けます。

純正ミラーの形状に応じて、<大><小>いずれかの固定バンドをご使用ください。

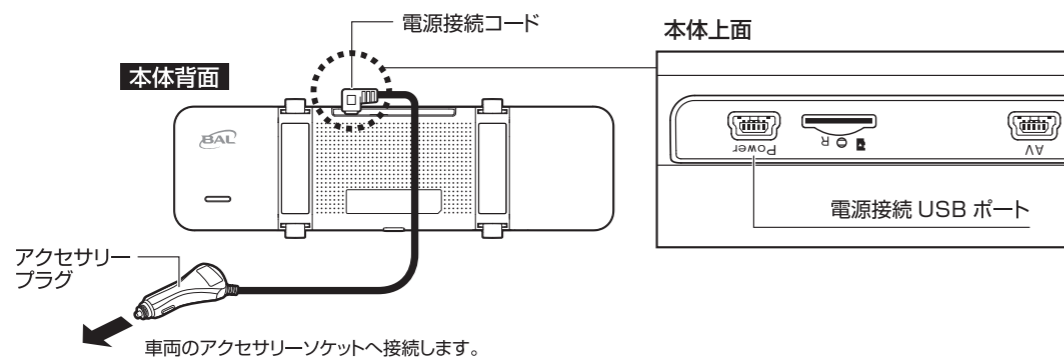
1. 固定バンドを取付固定具の上側に引っ掛けます。(図1)
2. 純正ミラーを挟み込んで固定バンドを純正ミラーの後ろから取り付け固定具の下側に引っ掛けます。(図2)  
※取り付けの際は本体を確実に支えながら取り付けてください。
3. もう一つの固定バンドも同じ方法で取り付け、本体の位置を調整してください。
4. 本体が確実に固定されていることを確認してください。(図3)  
※本体が水平を維持するように取り付けてください。  
※本体のミラーで後方が確実に見えることを確認してください。  
※運転者の前方視界を妨げない位置に取り付けしてください。



### 電源接続コードの取り付け

必ず車両の電源がOFFになっていることを確認してから接続作業をしてください。

1. 付属の電源接続コードを本体に接続し、アクセサリプラグを車両のアクセサリソケットに接続してください。  
※電源接続コードは本体の電源接続USBポート(Power)に接続してください。  
リヤカメラ接続ポート(AV)に接続した場合は電源が入りません。



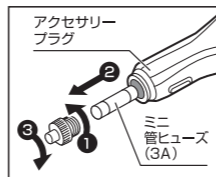
### ⚠ 注意

- ・電源接続コードは必ず付属品を使用してください。付属品以外を使用すると本製品もしくは車両が破損する可能性があります。
- ・安全に運転するために運転の妨げにならないようにコードを配線してください。
- ・お客様自身でコードを切断したり改造したりしないでください。本製品や車両を損傷する危険性があります。
- ・アクセサリプラグ内には12V/24Vから5Vに変換する回路が内蔵されています。アクセサリプラグの改造、加工は故障の原因となりますので絶対にしないでください。また、電源接続コードからアクセサリプラグを切断することはしないでください。

### ヒューズの交換

ヒューズが切れたときは、ミニ管ヒューズ(3A)をご用意ください。

- ① アクセサリプラグ先端を反時計方向に回して外します。
- ② 次に中のミニ管ヒューズを引き抜いて新しいヒューズ(3A)と交換してください。
- ③ アクセサリプラグの先端部分を時計方向に回して取り付けます。



## ■ 取り付けかた

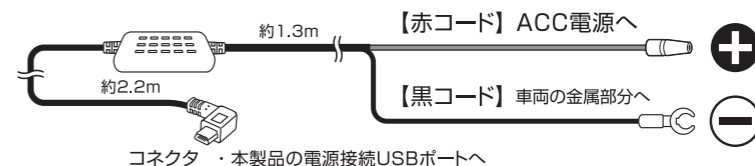
### 接続コード No.5701 について(オプション)

作業中のショート防止のため、車両へ接続するときは、車両のバッテリーのマイナス端子を外してから作業してください。車両の電装品はバッテリー端子を外すとメモリーの内容が消えてしまうことがあります。配線接続後は車両の電装品が正常に動作することを確認してください。車両の電装品(ブレーキライト・ホーン・ウインカー・ハザード)が正常に動作しない状態で使用すると、火災や事故の原因になります。

**重要** 赤色コード(プラス)と黒色コード(マイナス)を誤って逆接続すると故障します。配線を接続する際は十分に確認をしたうえで接続してください。

### 【配線の接続方法】

- 赤色コードは必ずエンジンキーと連動してON/OFFする車両のアクセサリ電源に接続してください。

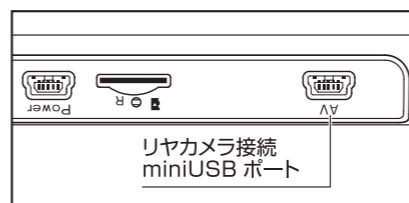


### リヤカメラの配線と取り付け

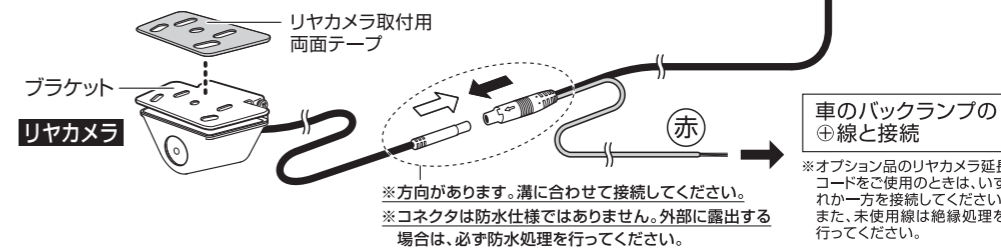
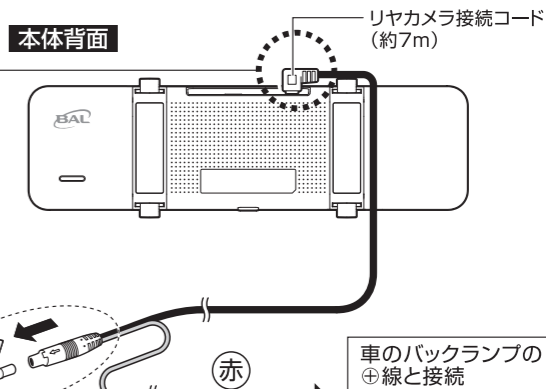
車両のバックランプ配線との接続(バック連動)

バック連動(リバース連動)でバックカメラとしても使用するときには、車両のバックランプの⊕線にリヤカメラ接続コードの赤色線を接続してください。 ※配線に負荷のかからないように引き回してください。

本体上面



本体背面



※方向があります。溝に合わせて接続してください。  
※コネクタは防水仕様ではありません。外部に露出する場合は、必ず防水処理を行ってください。

※オプション品のリヤカメラ延長コードをご使用のときは、いずれか一方を接続してください。また、未使用線は絶縁処理を行ってください。

### 【リヤカメラの取り付け】

リヤカメラは取り付け場所により取り付け方が異なります。はじめに取り付ける場所を確認し、適切な取り付け方法を選択してください。 ※オプション品のリヤカメラ延長コードは最大2本まで接続できます。(合計 約16m)

### ⚠ 注意

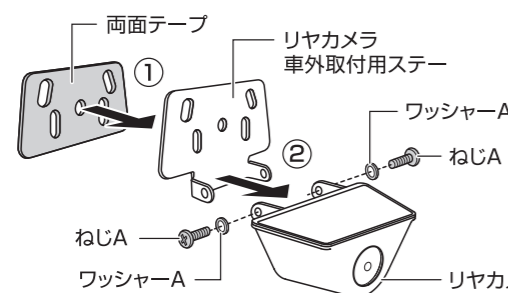
- ・工場出荷時に保護フィルムが貼ってあります。ご使用前に必ず剥がしてください。
- ・あらかじめカメラを仮接続し、取り付け位置を確認してください。 ※上下、左右を反転して設定可能です。
- ・取り付け位置により太陽光など光の反射の影響を受けやすくなる場合があります。取り付けるときは適切な位置を確認しながら取り付けてください。また、車内に取り付けたときは、光の差し込み具合などにより車内がリヤガラスに映り込み、映像が見えにくいことがあります。

1. 取り付け場所が決まったら、貼り付ける面をきれいに清掃してください。油分や汚れが付着した状態で貼り付けると走行中にリヤカメラが外れる危険性があります。
2. 両面テープ片側のフィルムを剥がして、ブラケットに貼り付けてください。
3. リヤカメラのブラケットに貼りつけた両面テープのフィルムを剥がして取り付け位置に押し付けます。  
※外気温が10℃以下の低温時には十分な接着力が得られないことがありますので、低温時を避けてください。また炎天下など高温時も粘着力が得られないことがあります。
4. 液晶モニターの画像を確認しながらリヤカメラの角度を調整してください。  
※リヤカメラは上方向から下方向に見下ろすような角度での取り付けをお勧めします。(後続車のヘッドライトの明かりがリヤカメラに直接入り込むことを防ぐため)

# ■ 取り付けかた

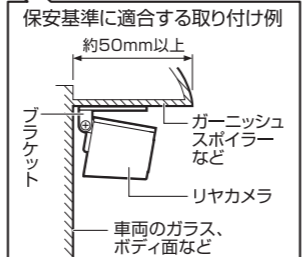
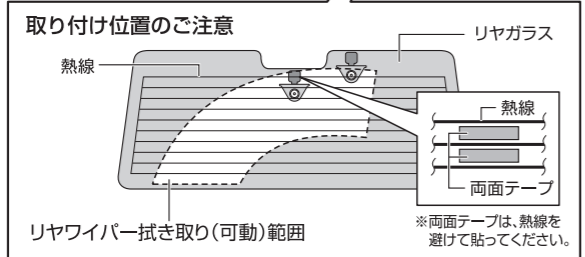
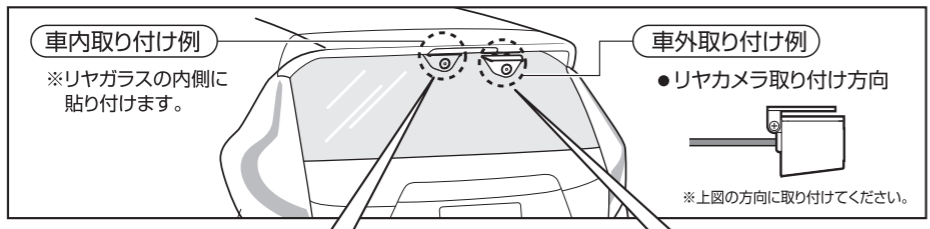
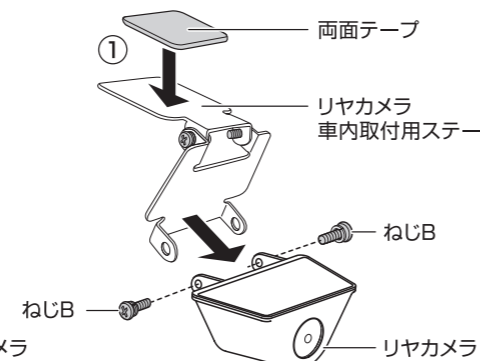
## 車外 取り付けの場合

- ① リヤカメラ車外取付用ステーに付属の両面テープを貼り付けます。
- ② ⊕ドライバーを使用し、リヤカメラとステーを付属のねじAとワッシャーAで取り付けます。
- ③ 画面を確認して角度を決めてから⊕ドライバーでねじAを締めて確実に固定します。  
※車体にねじで固定する場合は、付属のねじCをご使用ください。



## 車内 取り付けの場合

- ① リヤカメラ車内取付用ステーに付属の両面テープを貼り付けます。
- ② ⊕ドライバーを使用し、リヤカメラとステーを付属のねじBで取り付けます。
- ③ 画面を確認して角度を決めてから⊕ドライバーでねじBを締めて確実に固定します。



**重要** リヤカメラの取り付け位置や取り付け方法には注意が必要です。保安基準では、直径100mmの球体が接触する範囲に鋭い突起物があるてはならないので、カメラの周囲半径約100mmの平坦な面に装着する場合、カメラステー部分が基準に抵触する恐れがあります。

【外装の技術基準 概要】  
『自動車と人との接触の際に人が負傷する危険性を減らすため、自動車の外装表面には曲率半径が2.5mm未満である突起を有してはならない。』  
第18条 細目告示別添 第1節 別添 20「外装の技術基準」詳しくは、国土交通省自動車交通局ホームページを参照ください。

[http://www.mlit.go.jp/jidosha/kijyun/kokujitou\\_index.pdf](http://www.mlit.go.jp/jidosha/kijyun/kokujitou_index.pdf)  
[http://www.mlit.go.jp/jidosha/kijyun/saimokubetten/saibet\\_020\\_00.pdf](http://www.mlit.go.jp/jidosha/kijyun/saimokubetten/saibet_020_00.pdf)

**注意** ブラケットに確実に固定されていない場合、走行中にリヤカメラが落下し、損傷する可能性があります。リヤガラスにフィルムが貼られている場合、正常な映像を表示できないため、リヤカメラは室内に取り付けられないでください。フィルムが貼られている場合、リヤカメラは車外に取り付けてください。リヤカメラを車外へ取り付けるときは、熟練した技術が必要です。必ず専門の技術者へ相談または技術者が取り付けてください。バックドアやトランクの開閉時にコードがあたらないことを確認してください。リヤカメラを車内に取り付けたときに、映像範囲の半分程度に車内が映し出されているときは、車外の映像が白くなることがあります。この場合はリヤカメラの取り付け位置を変更するかカメラの角度を変更し、車外が鮮明に映し出されるように調整してください。車両のラジオアンテナやテレビアンテナ、その他の電子機器の近くに取り付けるとノイズの影響を受けることがあります。この場合、影響を受けている機器から離して取り付けてください。リヤカメラ取り付け後、24時間以内に水などがつかないようにしてください。またすぐに走行されると振動などにより外れる可能性があります。

# ■ 使いかた

## 電源ON/OFFについて

### 『電源のON』

本製品の電源接続コードを車両のアクセサリソケットまたは電源端子に接続し、アクセサリ電源をONまたはエンジンを始動すると、数秒後に本製品の電源が自動的にONになり、オープニング画面が表示されたのちシステムが起動します。手動で電源をONにするときは、電源ボタンを長押しするとONになります。  
※電源をONにしてから起動するまで数秒かかります。運転を開始するときはご注意ください。

### 『電源のOFF』

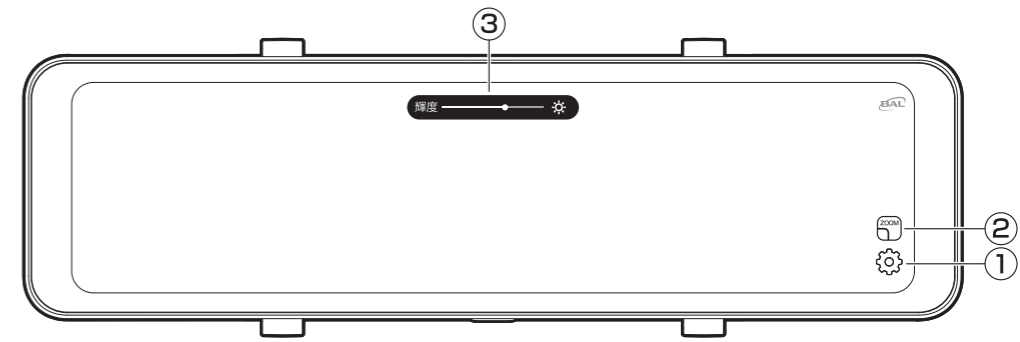
車両のアクセサリ電源をオフまたはエンジンを停止すると液晶画面が消え約8秒後に終了音が鳴り本製品の電源が自動的にオフになります。手動で電源をオフにするときは電源ボタンを長押しするとクロー징画面が表示されたのち本製品の電源が自動的にオフになります。  
※電源をOFFにしてから完全に停止するまで約15秒かかります。



**注意** ・本製品はバッテリー電圧によって、エンジンを始動したときに起動しないことがあります。この場合エンジン始動後に本製品の電源ボタンを押して電源をONにしてください。

**アイドリングストップ車での使用の場合**  
・本製品をアイドリングストップ車で使用している場合、車両のバッテリー電圧によって、アイドリングストップの状態からエンジンが始動したときに本製品の電源がOFFになることがあります。この場合、本製品の電源ボタンを押して電源をONにしてください。

## 液晶モニター表示



### [表示/設定メニューリスト]

- ① **設定メニューアイコン** (P.12「設定メニュー画面」参照)  
このアイコンをタッチすると、設定モード画面に入ります。
- ② **クイックズームアイコン**  
リヤカメラ画像の拡大/縮小をするときにアイコンをタッチすると、拡大/縮小します。(P.13「リヤカメラズーム機能」参照)  
※広視野角画面(標準画面)と設定した倍率画面(×1~×20)との切り替えができます。  
※拡大しても保存されたファイルのサイズは変更されません。 ※初期設定は×10で設定されています。
- ③ **画面明るさ設定アイコン**  
左右にスライドすると画面の明るさを調整できます。

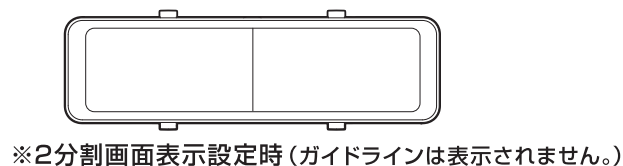
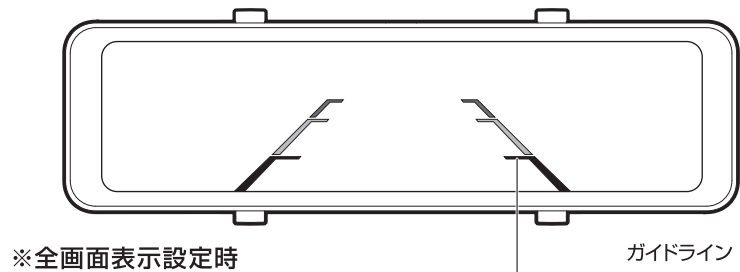


# ■ 使いかた

## リバースギヤ連動表示

リヤカメラ接続コードを車のバックランプの⊕線と、もしくはリバース信号に接続すると、リバースギヤに入れたときにガイドラインを表示することができます。

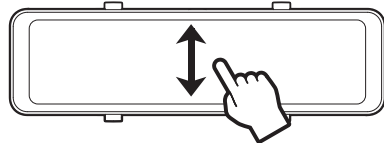
※リバースギヤのガイドラインの調整は、「設定メニュー」の画面から調整できます。(P.12 参照)  
 ※車両のギヤがリバースに入ると、リヤカメラの映像は通常より下方を表示することも可能です。



## [映像範囲の調整]

- 車両のギヤをリバースに入れた状態で、液晶モニターを指で縦にスライドさせると映像の上下が調整できます。

※ この調整位置は一度設定すると次回以降その調整位置で表示されます。



- ガイドラインの調整は、P.12 “ガイドラインの調整”を参照してください。

※ リバースギヤ連動機能は設定画面にて分割表示可能です。

### ⚠ 注意

- ・リバースギヤ連動表示は後方の障害物などの確認のための補助手段として使用してください。雨水などがカメラのレンズに付着すると、映像が見えにくいことがあります。
- ・リヤカメラの映像には、車両周囲の距離感を把握するガイドラインが表示されますが、全ての危険および障害物をカメラで映し出せるものではありません。映像だけを見ながら車両を後退させることは絶対にしないでください。必ず目視で後方の確認をしてください。
- ・リバース表示には、配線の接続が必要です。配線を正しく接続しないとガイドラインは表示されません。  
 ※配線の接続については、P.8 “リヤカメラの配線と取り付け”を参照してください。

# ■ 使いかた

## 設定メニュー画面

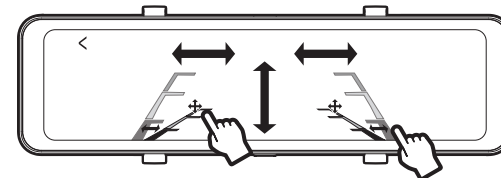
⚙️ アイコンをタッチすると、設定メニュー画面が表示されます。

項目	1	2	3	4	機能
ファームウェアのバージョン	-	-	-	-	ファームウェアのバージョンを表示
システムを初期化します	-	-	-	-	全ての設定を初期化
音量	5(0~10) (▲)	-	-	-	操作音量/再生音量を設定
操作音	オン⇄オフ (▲)	-	-	-	操作音を設定
リヤカメラズーム機能	×10(×1~×20) (▲)	-	-	-	液晶画面上でのリヤカメラ映像の拡大/縮小設定 ※初期設定は×10
ミラーモード切替	オフ (▲)	1分	2分	3分	液晶画面の表示時間を設定 ※オフにすると常時カメラの画像表示
ガイドライン表示	オン⇄オフ (▲)	-	-	-	ガイドライン表示設定
ガイドライン調整	-	-	-	-	ガイドラインのライン設定
リバースギヤ連動表示	全画面表示	2分割画面表示 (▲)	-	-	リバースギヤ連動表示画面の設定
リヤカメラ鏡像	オン⇄オフ (▲)	-	-	-	リヤカメラ映像を鏡像(ON)/正像(OFF)に変更 できます。
リヤカメラ画像 上下反転	オン⇄オフ (▲)	オン	-	-	リヤカメラ映像を上下反転(ON)/無反転(OFF)に 変更できます。
言語	中国語	英語	繁體中文	日本語 (▲)	表示言語の設定

※ (▲)は工場設定値です。 ※ 機能向上のためバージョンアップを行うことにより、メニュー画面が追加/変更になる場合があります。  
 ※ 約30秒間操作していないときは自動的に通常画面に切り替わります。

## ガイドラインの調整

設定メニュー画面の“ガイドライン調整”をタッチすると、ガイドラインの調整画面が表示されます。

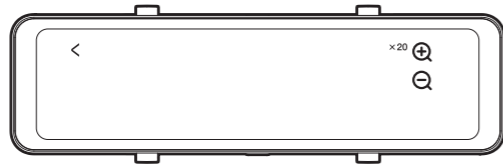


- ガイドラインの ⊕ または、↔ をタッチした状態で ⊕ または、↔ を動かすとガイドラインの調整ができます。ガイドラインの調整を終了するときは < をタッチすると設定メニュー画面に戻ります。  
 ※未操作の状態約 30 秒経過すると通常画面に戻ります。

## ■ 使いかた

### リヤカメラズーム機能

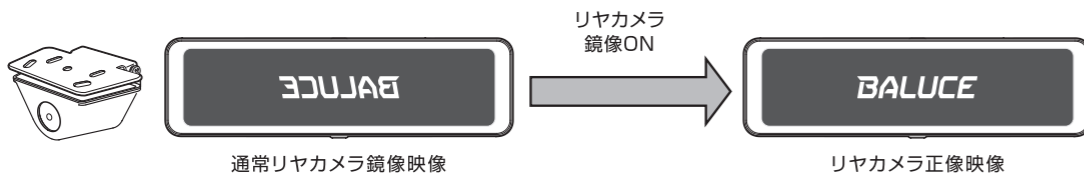
設定メニュー画面の“リヤカメラズーム機能”をタッチすると、リヤカメラの拡大/縮小調整画面が表示されます。



- をタッチする ×1 から ×20 まで拡大されます。  
 をタッチすると ×1 まで縮小されます。  
※ 初期設定は×10
- ズーム機能を終了するときは をタッチすると設定メニュー画面に戻ります。また、未操作の状態で約 30 秒経過すると通常画面に戻ります。リヤカメラズーム機能の設定終了後、通常画面に戻ると拡大画面になっています。必要に応じて縮小するときは をタッチしてください。

### リヤカメラ鏡像

設定メニュー画面の“リヤカメラ鏡像”をタッチすると、リヤカメラ映像をデフォルト(初期)設定の鏡像から正像に変更できます。



### リヤカメラ画像上下反転

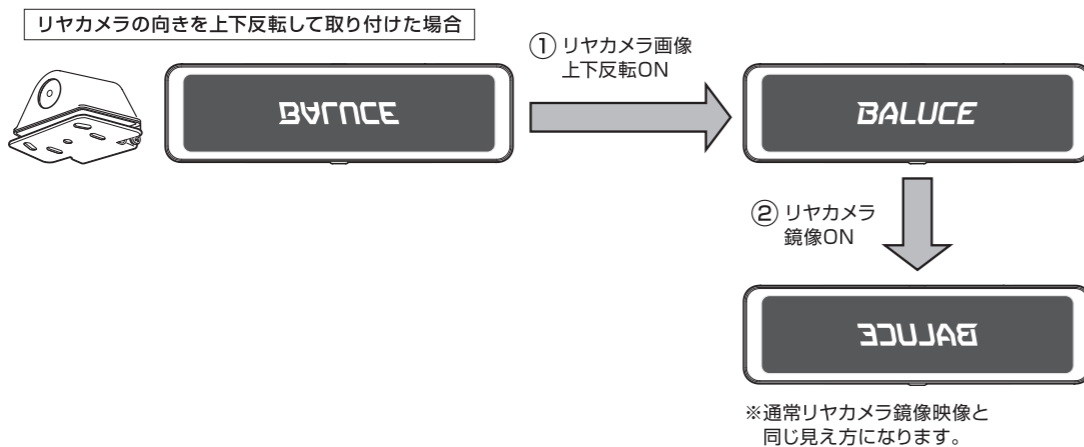
設定メニュー画面の“リヤカメラ画像上下反転”をタッチすると、リヤカメラ映像をデフォルト(初期)設定から上下反転に変更できます。

これにより、リヤカメラの向きを上下反転して取り付けても映像を表示することができます。

**リヤカメラの向きを上下反転して取り付ける場合はリヤカメラ鏡像モードもあわせて変更してください。**

※運転中の誤認識を防止するために、リヤカメラ映像は鏡に映した像と反対に映した像の確認、および上下反転の設定は、十分に確認して切り替えを行ってください。

※上下反転した場合、映像の上下方向の調整が逆になります。



## ■ ファームウェアについて

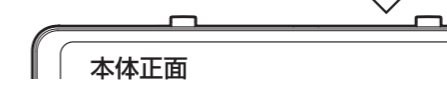
ファームウェアのアップデートには別途microSDカードが必要です。

### microSDカードの取り付けと取り出しについて

microSDカードを取り付け/取り出しする前に必ず本製品の電源がOFFになっていることを確認してください。 ※本製品が起動中にmicroSDカードの取り付け/取り出しするとデータの破損や消失の原因になります。

#### microSDカードを取り付けるとき

microSDカードの向きに注意してスロットに差し込んでください。



#### microSDカードを取り出すとき

カードを押込み、カードが少し飛び出してきたら引き抜いてください。



microSDカードがスロット内部に確実に差し込まれたことを確認してください。

※「カチッ」と音がするまで差し込んでください。差し込みが不十分な時はカードが少し飛び出します。

### ファームウェアをアップデートする

仕様変更、機能追加などにより、本体のファームウェアが更新されることがあります。弊社ホームページ上にて最新のバージョンが公開されているときは、パソコンなどからアップデートしてください。最新の状態でご利用いただくために、定期的にホームページをご確認いただくことを推奨します。

※当社へファームウェアのアップデートをご依頼する場合は有償となりますので予めご了承ください。

最新のバージョンは弊社ホームページの製品ページでご確認いただけます。

URL <https://www.bal-ohashi.com>



製品ページ

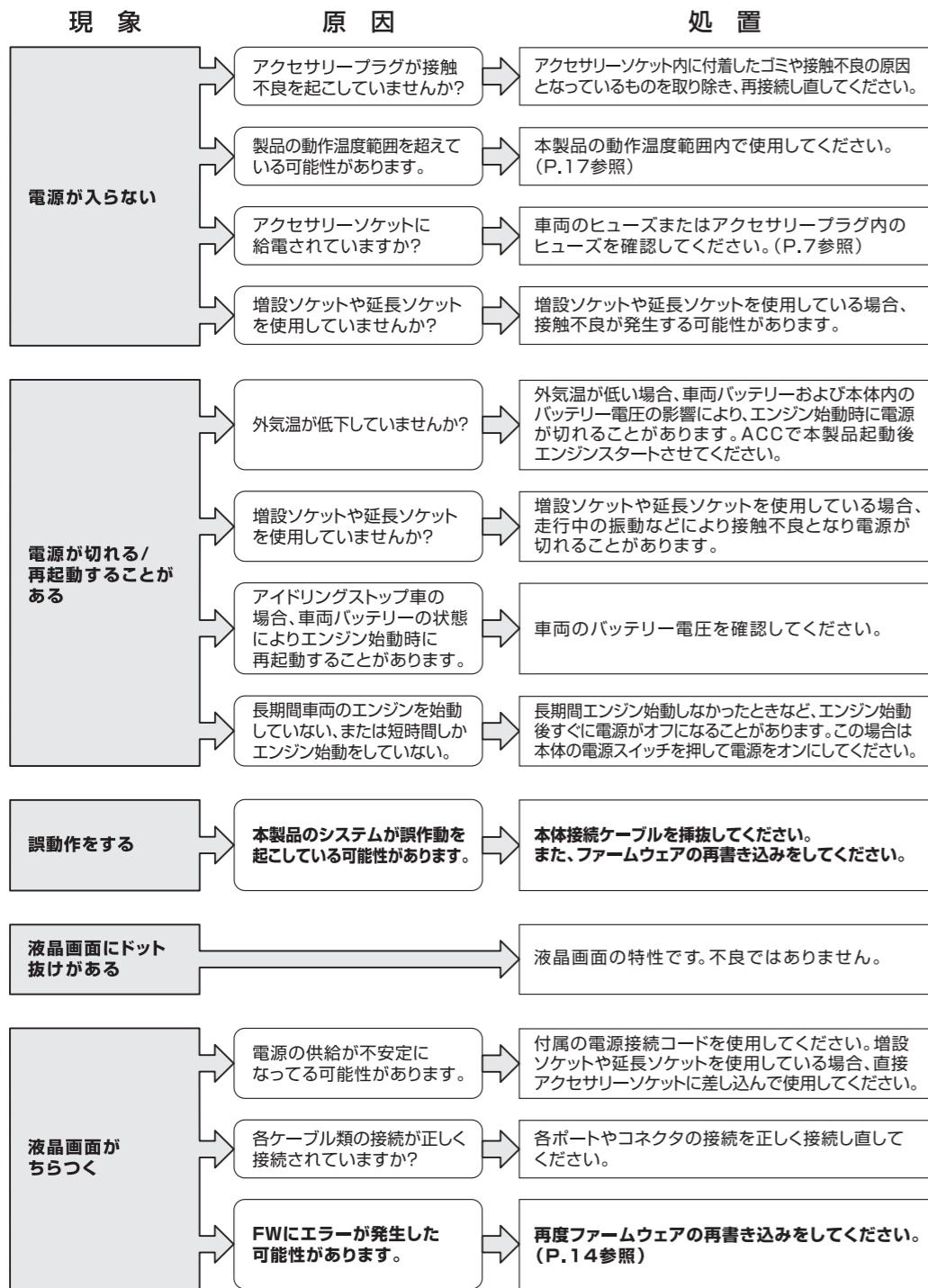
1. ホームページから最新のファームウェアをダウンロードしてください。  
※ ホームページ「必ずお読みください」の項目をよく読んでください。
2. 別途用意したmicroSDカードを、パソコンと接続してください。
3. microSDカードをFAT32のファイルシステムにてフォーマットしてください。
4. 接続したmicroSDカードのフォルダーに、ダウンロードしたファームウェアを移動(コピー)してください。  
※ ファームウェアのファイル名称は変更しないでください。  
※ 書き込み中は絶対にmicroSDカードは取り外さないでください。



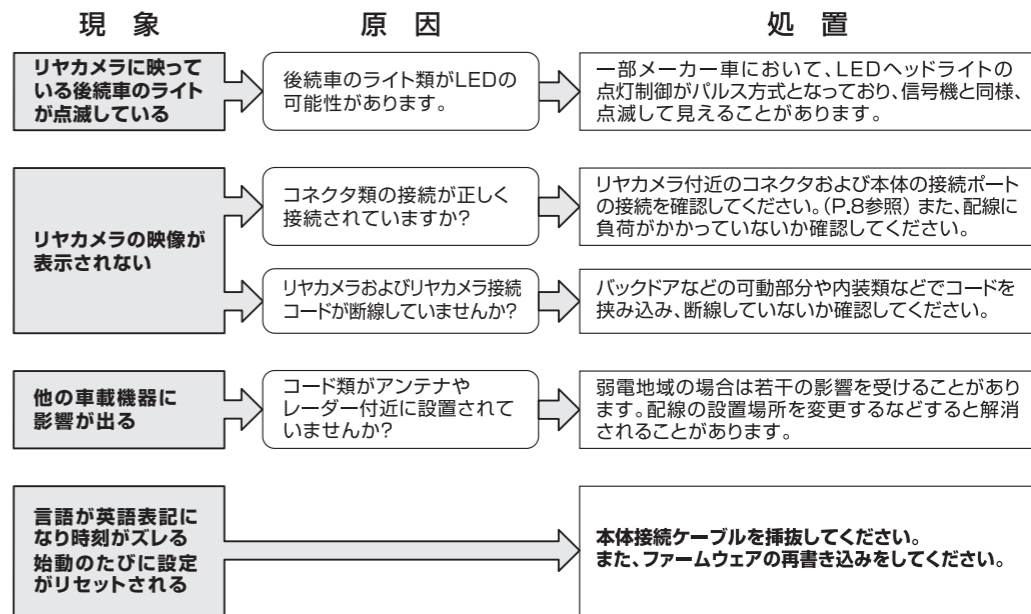
5. ファイルの移動が完了したら、microSDカードをパソコンから取り出し、本製品に挿入してください。
6. 本製品の電源がONになると、自動的にファームウェアがアップデートされます。アップデート後は電源がOFFになります。本製品の電源スイッチでONにしてください。  
※ ファームウェアが正常にアップデートされると、microSDカード内のファームウェアは自動的に削除されます。  
※ アップデート後は本製品の設定がリセットされますので、改めて設定をしてください。
7. microSDカードを取り出してください。



## ■ 故障と処置



## ■ 故障と処置



## 製品仕様

### 本体

品番	No.5200
品名	デジタルミラー バルーン M(EM)
液晶	10.88V型HD IPSディスプレイ(液晶解像度:1920×480)
映像外部入力	専用リヤカメラ入力(専用USB)
使用電圧	DC12V/24V
本体サイズ	約258(W)×20(D)×72(H)mm ※取付固定具を除く
質量	約0.4kg
動作温度範囲	-10℃～60℃
内蔵バッテリー	スーパーキャパシタ
消費電力	約8W

### リヤカメラ 防水、防塵設計(IEC規格IP67適合)

カメラ	イメージセンサー	200万画素 CMOSセンサー HDR
	視野角(レンズ画角)	対角:140° / 水平:112° / 垂直:60°
フレームレート		25fps
使用電圧		DC5V
消費電力		1.1W
コード長		約7m
本体サイズ		約56(W)×28(D)×26.5(H)mm
質量		約70g ※ブラケット含まず
動作温度範囲		-10℃～60℃

※改良のため、予告なく仕様および外観を変更することがあります。  
 ※この取扱説明書で使用されている画像・イラストはイメージです。  
 実際の製品や画像とは異なることがあります。



この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。  
 取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI-B

## 保証について

- 修理はお買い求めいただいた販売店・取付店または弊社に本保証書および修理依頼票を添えてご依頼ください。また、修理依頼の際は必ず本体・カメラ・コード類をセットでご依頼ください。  
 ※各部品単体では修理できないことがあります。
- 消耗品(両面テープ・固定バンド)は保証対象外です。
- 次に示す費用については負担致しません。
  - 1.本製品以外の損害(車両の修理費用・脱着工賃など)
  - 2.本製品が使用できなかったことによる、不便さおよび損失(電話代・けん引代・レンタカー代・休業補償など)

## 個人情報の利用目的について

本製品に関するお問い合わせや修理を依頼される場合の個人情報は、次の目的のみ利用されます。

- 1.当社製品、サービスに関するお問い合わせ、ご相談、修理などに対応するため
- 2.製品の企画、開発、販売促進、営業活動にお客様のご要望を反映させるため、および満足度向上などの検討に必要な参考資料とするため

## 修理受付票

No.5200

修理のご依頼をされる時は、修理受付票と保証書(裏面)をご記入の上、修理依頼品に添付していただきお送りください。

### お客様ご記入欄

お客様名			ご住所 〒	-	
電話番号	ご自宅	-	-		
	日中連絡先	-	-		

症状  常に発生する  時々発生する  特定の条件の時に発生する

詳しくご記入ください。

お見積り連絡  不要  必要( )円以上の場合に連絡

※必要を選択された場合でも金額が発生しないときは連絡せず修理させていただきます。

修理発送先 ※上記住所以外への発送の場合にご記入ください。

お客様名			ご住所 〒	-	
電話番号	ご自宅	-	-		

✂  
キリトリ線